

子どもやペットも要注意！ 食べると危険な植物

美しい植物の中には、人間や動物の健康や生命に害を及ぼす有害成分を持つものがあります。それらの有害成分は人間にとっては毒でも、植物にとっては自らの生命維持のためなどに必要なものである、ということを理解しておきたいものです。毒性や扱い方を理解しておけば、問題なく植物と楽しく付き合うことができます。

スズラン(鈴蘭)

春に香りの良い真白な可愛らしい花を咲かせるスズランは、全草に毒を持っています。有毒成分はコンバトキシンなど強心作用のあるもので、大量に摂取すると呼吸停止や心不全を引き起こすこともあります。



過去にはスズランの切り花が生けてあったコップの水を飲んだ子どもの死亡例も…。

注意すべきはスズランを口にしないことです。眺めて、香りを楽しむ分には何の問題もありません。

アジサイ(紫陽花)

アジサイの毒性ははっきり分かっていませんが、飲食店で料理の皿に飾りとして添えられていたアジサイの葉を食べて中毒症状を起こしたとされる事故が発生しています。



アジサイの葉は大葉に少し似ています。飾りつけに使用したり、間違えて食べないように注意してください。

クリスマスローズ

クリスマスローズは冬から早春に可憐な花を咲かせる植物。冬のガーデニングの強い味方ですが、全草に毒があり、**特に強いのは根です。**ヘレボレインを始めとする有毒成分を持っており、誤飲するとめまい・吐き気・嘔吐などの症状が現れ、大量摂取の場合は心臓麻痺により死亡することも…。しかし、口にしなければ問題ないので、植え替え等で神経質になる必要はないでしょう。気になる場合は手袋をして作業してください。



スイセン(水仙)

スイセンは冬から春に香りの良い花を咲かせる球根植物。庭や公園など様々な場所に植えられています。スイセンは全草にリコリンなどの有毒成分を含んでいます。**花が咲いていない時のスイセンの葉をニラに、球根を玉ねぎと間違えて食べて、中毒症状を起こした事例が多くあり、誤飲 30 分以内で嘔吐・下痢・発汗・頭痛・昏睡などの症状が現れます。**花と香りを楽しむだけにしましょう。



フクジュソウ(福寿草)

フクジュソウは春に黄色い花を咲かせる多年草。

特に**早春のフクジュソウの新芽をフキノトウと間違えて食べてしまう心配があります。**

シマリンなどの有毒成分が含まれ、不整脈の原因になることがあります。

むやみに食べないようにしましょう。



ヒガンバナ(彼岸花)

ヒガンバナは秋に印象的な花を咲かせる球根植物。

スイセンにも含まれている有毒成分コリンが全草に含まれます。

花の後に出てくる葉はニラと間違えやすいので、注意してください。



キキョウ(桔梗)

キキョウは秋に青紫色の花を咲かせる多年草。秋の七草に数えられる和の花ですが、

絶滅危惧種に指定されています。

キキョウは全草にサポニンなどの有毒成分を含み、誤飲すると蕁麻疹などを起こします。

むやみに食べないようにしましょう。



毒のある植物と言っても、口にしなければ人体に害を及ぼすことはありません。

とはいえ、見分けに迷った植物・間違いなく食用だと判断できない植物・

植えた覚えのない植物は、絶対に食べないでくださいね！

植物の持つ個性を理解して、見て・香りを楽しんで、上手に付き合っ

ていきましょう。

